

# 平成30年度 自己評価報告書

評価対象期間 自： 平成30年4月1日

至： 平成31年3月31日

評価基準日 平成31年4月1日

学校法人栗岡学園

阪奈中央リハビリテーション専門学校 日本語科

## 評価項目の達成および取組状況

- 1 教育
- 2 施設・設備
- 3 学生サービス
- 4 教育面などでの特筆すべき取り組み

回答責任者：日本語科主任教員、事務次長

## 1 教育

項目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価	今後の向上・改善策
1. カリキュラムは貴校の教育目標をどのように反映していますか	教育理念に基づき段階的にステップアップを図れている。また日本での生活や資格外活動に差支えないよう、コミュニケーション能力の涵養を主眼とした教育を心掛けている。	概ね教育目標通りの授業が展開できていると考える。 学生の国籍に偏りがあり授業内で母語に頼る学生が存在する。そのことが学生の日本語運用能力の伸長に際して障壁となっている部分がある。	5 + 分 4 3 ふ つ う 2 1 不 十 分	カリキュラムおよびシラバスは現状から大きく変更させる必要はないと考える。 19年10月期からはさらに数クラスが増加する予定となっているため、教員の増配および学生の多国籍化が今後の課題である。
2. カリキュラムに卒後の職場のニーズをどのように反映していますか	卒業後直接就職する学生は少ないが、母国において四年制大学を卒業した学生が就職へと進路を変更し退学した。また、本校理学療法学科への進学、介護関連の専門学校へ進学した学生も存在する。	留学生の多様な進路ニーズおよび日本語運用能力に対応する進路指導の体制が構築できていると考える。 日本語運用能力の観点で必ずしも十分でない学生への進路変更指導のためにも、より多くの進路の可能性を模索する必要がある。	5 + 分 4 3 ふ つ う 2 1 不 十 分	多様な進学先の情報を収集し、医療人材となることの意義を学生に日々伝えるとともに、学生たちが選びたくなる進路の構築を進学先及び就職先とともに検討する時代となっている。
3. 授業科目の学年進行や時間配分は適切ですか	入学時のクラス編成から学生の学習進捗度に応じて柔軟にクラス編成と講師配置を行っている。現状では言語学習に必要な少人数クラスの状況が確保できている。	春学期入学2年制の学生については余裕を持ったカリキュラム編成が可能である。 秋学期の入学者については進路の決定までの時間が短く、十分な日本語能力の養成には課題が多い。学習時間と内容の確保には新たな取り組みが必要であると考ええる。	5 + 分 4 3 ふ つ う 2 1 不 十 分	秋学期については、入学時点で相当の日本語運用能力を保持していなければその後の進路指導に支障があることが明確になってきた。 学生募集時から学習修了時の計画を明確にし、実現可能な指導が行える体制を組織全体で共有する必要がある。
4. シラバス（授業要項）を作成していますか（内容は適切ですか）	学科設置時にレベルに応じたシラバスが設定されている。当該シラバスは、各レベルを担当する教員により実際のカリキュラムに反映される。	内容等については問題点は無いと考える。学生のニーズの変化や教育に関する技術革新に応じて、常に検討を重ねる必要がある。	5 + 分 4 3 ふ つ う 2 1 不 十 分	各教員間でシラバスの内容につき理解を深め、各専任教員が運用に際し内容にばらつきが出ないよう努める。同時に、改善点については常に検討を重ねる。

5. カリキュラムの見直し体制はどのようにしていますか	全専任教員により日々蓄積され、公開される授業報告をもとに、学科運営会議等で随時進度・教材・クラス編成等につき見直しを行っている。	教育実績等から考え、今年度のカリキュラムは教育目標の達成に大きく寄与した。語学教育では入学前のレディネスによりクラス運営が大きく変化するため、広報等との情報共有が必要である。	5 + 分 4 3 ふ つ う 2 → 1 不 十 分	学生募集や提携海外教育施設との折衝等に教職員が積極的にかかわり、事前に得られる情報を教室活動およびゴール設定に反映させる。
6. テキストや教材をどのような基準で採用していますか	進学や就職を目指す場合、日本語能力試験N2レベルへの到達が求められる。学生のレベルと弱点、ゴールの設定等を考慮しテキスト等を採用している。	学生個々人のレベルに応じ、細分化された教材の提供ができた。今後学生数の増加に伴い、システムティックな教材提供が求められ、それゆえに個々人にフィットしているか否かを熟考できるかどうか課題である。	5 + 分 4 3 ふ つ う 2 → 1 不 十 分	教育方法等も日々新しくなり、効果的に学習が進められる教材も日々新しいものが生まれる。常に教材研究に費やせる時間を確保し、新たな取り組みを目指す必要がある。
7. 目標とする教育効果を踏まえて適切に成績評価を行っていますか	言語運用能力の四技能（読解、記述、発話、聴解）に加え、論述力や待遇表現等の「実際の日本語使用に関する能力」についても作文や面接等を通じて評価している。	作文等については複数名の専任教員による評価を行い、成績が主観的・恣意的に評価されることを防いでいる。	5 + 分 5 4 ふ つ う 3 → 2 1 不 十 分	現在は日々の提出物や小テスト等の結果も成績評価に反映させており、評価作業が煩雑になっている。学生数の増加に伴った合理化につき検討する必要がある。
8. 学生の理解度に応じて授業を柔軟に進めていますか	法務省に定められた定員を下回る少人数クラスを複数設定することにより学生の能力に応じた授業活動を展開している。	現在の授業運営は学生の能力に応じて細分化された設定が可能となっている。今後学生数が増加することに伴い、現状から後退する部分をどう補うかを検討する必要がある。	5 + 分 4 3 ふ つ う 2 → 1 不 十 分	語学の学習についてはクラスサイズが大きな要因となる。経営とクラス運営とのバランスをどのようにとるかの検討が必要である。
9. 学生の学力不足を補うための教育をとくに実施していますか	毎日設定している教員が在籍する自習時間に加え、学力不足が認められる学生については授業時間外に補講等を行い、クラスでの学習に追いつけるようにしている。	補講等を少人数で行うことで在籍クラスでの学習に自信を取り戻した学生の姿が見られた。きめ細やかな授業内外でのフォロー体制を機能的に設定するかが検討課題である。	5 + 分 4 3 ふ つ う 2 → 1 不 十 分	教員間での学生情報を共有すること、学習に困難を抱える学生に対する迅速な対応がその後の学習活層に大いに影響を与えるという意識の共有が肝要である。

10. マナー（喫煙指導などを含む）やしつけの教育や指導を行っていますか	全教員と通訳を含めた事務職員が協力し、特に出身国とは異なる意識（特に時間の厳守、衛生、マナー等）についての指導を行っている。	入学時、また必要に応じて、マナー等についての理解を深める教育を行っている。 全ての事象につき短時間で伝えることは難しいため、思いも寄らない問題が生じる場合がある。	5 + 分	4 ふ う	3 つ う	2 →	1 不 分	今後、個々の学生に対して指導を徹底していく。
11. 教育技術（教育方法）の研修・研究を実施していますか	研究会や学会等への参加を奨励し、学んだ内容について学科内で共有している。	教員間で情報を共有したり授業を相互に見学したりしやすい環境が整えられている。	5 + 分	4 ふ う	3 つ う	2 →	1 不 分	理論と実践のバランスが取れた教育活動の展開を目指すとともに、その成果について広く社会に伝えられるよう研究発表等を視野に入れる。
12. 学生による授業評価を実施し教育改善に反映していますか	面談等を行い、学習内容や授業、学校生活への評価を母語を用いて聞きとっている。	授業全体の評価については、学生からの聞き取りにより行っているが、各教員の評価は行われていない。	5 + 分	4 ふ う	3 つ う	2 →	1 不 分	留学生は授業に関する不満があっても表出しないことが多い。聞き取る項目や方法を検討し、思いが反映される授業を展開したい。

## 2 施設・設備

項目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価					今後の向上・改善策
1. 教室の数や広さ、附帯設備は適切ですか	教室の数は十分である。教室上部がカーテンで仕切られているため、聴解等において隣の教室の音が漏れやすい。絨毯のない教室があり、保温や吸音について課題が残る。	教室の数と広さは十分である。絨毯および教室外のロビーの風景が教育機関らしく整えばなおよい。	5 + 分	4 ふ う	3 つ う	2 →	1 不 分	授業活動に必要な教具や機材、授業研究に必要な機材（ビデオカメラ等）、授業外活動に必要な機材（調理器具等）をさらに充実させたい。
2. 図書室を設け蔵書を適切に揃えていますか（有効に活用されていますか）	図書室および書棚を設置し、多読教材等が閲覧できるようにしている。	まだ書籍の点数が少ないため、熱心な学生はレベルに応じた書籍をすぐに読破してしまう。	5 + 分	4 ふ う	3 つ う	2 →	1 不 分	教材費の充実、不要となった書籍の寄付を募る等の方法により、学生が満足できる内容の蔵書を整えていきたい。

3. 実習・実験室の数や広さ、附帯設備は適切ですか	実習等は行わない。		5 + 分	4 ← う	3 つ う	2 → う	1 不 十 分	
4. 最新機能を備えた視聴覚機器や情報機器は足りていますか（有効に活用していますか）	プロジェクター等は利用しやすい環境にある。 学生の調べ学習のためにWi-Fiが設置されている。	聴解のためのスピーカーや書画カメラ等、今後追加したい機材もある。 Wi-Fiの利用の為に学生はFacebookへのログインが求められ、個人情報保護の観点から利用しない学生もいる。	5 + 分	4 ← う	3 つ う	2 → う	1 不 十 分	学習時間の短さを補うため、LMS（Learning Management System）等の利用による教室外学習と反転授業の可能性について検討したい。
5. ニーズに応じた学生寮を保有していますか（有効に活用されていますか）	女子寮は講義棟に併設しており、男子寮も徒歩で5分程度の場所にある。	特に男子寮については設備等が古くなっている部分がある。	5 + 分	4 ← う	3 つ う	2 → う	1 不 十 分	随時補修等の改善を実施していく。
6. 体育館や運動場などを保有していますか（有効に活用されていますか）	体育館があり、入学式・卒業式等に使用しているだけでなく、関連の阪奈中央病院の患者でスポーツ選手も利用している。 広い芝生広場に加え、運動場を造成中である。	体育館や芝生広場は、学生や当法人の関係者はもちろん近隣住民の方々にも開放している。	5 + 分	4 ← う	3 つ う	2 → う	1 不 十 分	今後もこの状況を維持、継続していきたい。

### 3 学生サービス

項目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価					今後の向上・改善策
1. クラス担任制をとり修学に問題のある学生に対して適切な対応を行っていますか	各レベルの人数が少ないため、現状は各レベルのカリキュラム作成担当教員が成績等の管理を行っている。	現状は全教員が全学生の状況を把握している。 学生数の増加に伴い、現在の運営は難しくなると考えられる。	5 + 分	4 ← う	3 つ う	2 → う	1 不 十 分	学生をグループに分け、担当教員を設定する。学習面はカリキュラム担当者が、生活面は担当教員が把握に努める。

2. 学生に対してカウンセリング（心理相談）を行っていますか	母語を用いた面談を随時（入学時、進路指導時、その他必要に応じて）行い、状況の把握を行っている。	これまでのところ大きな問題は起きていない。 人数の増加に応じて、現在の運営が難しくなる部分があると考える。	5 + 分	4	3 ふ	2 つ	1 → +	専属の生活指導担当者が常時在勤する状況を整える必要がある。
3. 教室以外に休憩スペースが適当に置かれていま	教室外に広いロビーがあり、ソファやテーブルなどが設置されている。	かつて利用されていた施設が残されており、見栄えが良くない部分がある。	5 + 分	4	3 ふ	2 つ	1 → +	改修等の検討をしていく。
4. 食事場所や売店などのスペースが設けられていますか	学生が食事をするのに十分なスペースが確保できている。売店は無いものの、弁当の注文販売・パンと飲料の出張販売がある。また、自動販売機も十分設置されている。	二部制であるためあまり校内で食事をするのではないが、パンの販売はよく利用されている。	5 + 分	4	3 ふ	2 つ	1 → +	食事場所については十分である。売店については近所にスーパーやコンビニがあり、学内では十分とは言えないが、出張販売があるので不自由ではない。
5. 学校独自に奨学金や特待生制度を行っていますか	現段階では学校独自の奨学金や特待生制度は行っていない。独自の支援制度としては、診療費補助制度がある。	学校独自の奨学金制度はないが、納付金自体を低く設定している。留学生在が利用できる学費減免等はないものの寮費等を安価に設定していることが生活への支援となっている。	5 + 分	4	3 ふ	2 つ	1 → +	成績優秀者等への奨学金が設定できれば学習動機の上につながると考えられる。
6. その他 特になし			5 + 分	4	3 ふ	2 つ	1 → +	

#### **4 教育面などでの特筆すべき取り組み(自由記入)**

※学内においてこれまで記入したこと以外に、教育、施設・設備、学生サービス面での特筆すべき取り組みがあれば記入ください。